

土木学会コンクリート委員会 3種委員会
鉄筋コンクリート設計システム研究小委員会(340委員会)
第9回全体委員会 議事録

日 時：平成 22 年 8 月 19 日（木）13:00～16:00

場 所：土木学会 A 会議室

出席者：渡辺委員長，斉藤幹事長，~~青戸委員~~，~~石澤委員~~，市波委員，井上委員，~~入江委員~~，~~尹委員~~，内田委員，~~小川委員~~，~~奥井委員~~，柏原委員，~~金子委員~~，~~土原子委員~~，川端委員，木野委員，小林委員，斉藤(修)委員，斉藤(隆)委員，笹谷委員，塩畑委員，島委員，~~下村委員~~，滝本委員，谷村委員，土屋委員，内藤委員，長井委員，中島委員，~~中野委員~~，~~西崎委員~~，~~服部委員~~，~~濱田委員~~，平野委員，~~吉本委員~~，牧委員，~~松橋委員~~，三喜委員，~~二本委員~~，~~横田委員~~，米田委員，渡辺(健)委員，渡辺(伸)委員

(敬称略，計 25 名 取消線は欠席者)

資 料：

- 資料 9-0 第 9 回全体委員会議事次第
- 資料 9-1 第 8 回全体委員会議事録（案）
- 資料 9-2 設計システム WG 議事メモ
- 資料 9-3 構造細目 WG 議事メモ

議 事：

1. 前回議事録の確認

- ・ 資料 9-1 に基づき，前回委員会の議事録(案)の確認を行った。

2. WG の活動内容について

(1) 構造細目 WG

- ・ 谷村主査より，構造細目 WG について報告があった。
- ・ 検討項目と担当がほぼ決まったので，順次進めていく予定である。次回示方書のための課題抽出が出来ればと考えている。
- ・ 用心鉄筋の取り扱いが施工にも関係してくると思われるが，どのようにすればよいか？
- ・ 収縮等に考慮したものもあると思われるが，施工の不確実性を懸念して入っているものもあるのではないかとと思われる。
- ・ 用心鉄筋に施工が本当に関係しているのか？あるのであれば，用心鉄筋について施工に

- 関する不確実性を考慮しているものについて、具体的な例を明記すると分かりやすい。
- ・ 収縮などの材料に関わるものはどうすればよいのか？→収縮量を照査して、それに応じた鉄筋量を入れればよい。それこそ施工が絡むかもしれない。
 - ・ 問題は標準ではなく、本編に掲載されているような構造細目である。
 - ・ レベル3のために標準をなくすことはできないので、レベル2でやろうとしたらこうだ、というものを提案できれば良い。

(2) 設計システム WG

- ・ 塩畑主査より、設計システム WG について報告があった。
- ・ 現在では SWG として材料設計システムがあり、最終的には全体系の設計システムとして取りまとめていく予定である。取りまとめ方については、現在議論中である。
- ・ 良い設計を行うための条件をという表を作ったので、それを基に事例を収集していく予定である。
- ・ 木野委員より、JR 東日本における「良い設計」事例について説明があった。
- ・ 発注者からの指示があったのでレベル2が行い易い。請負者側からの技術提案がもっとあれば、レベル2に貢献したと考えられるのではないか？発注者の意思がレベル2であって、請負者はレベル3ではないか？
- ・ 請負者側からの提案によるレベル2ももちろんあるが、請負者のみで最初からレベル2をやることはなかなかできない。
- ・ 発注者と請負者が同等の技術力をもっていることが前提条件。
- ・ 技術提案のために相当な開発費を投資している場合もあり、全体系としてよいのかは難しい。
- ・ 塩畑主査より、NEXCO における良い設計事例が紹介された。
- ・ 当時の道路公団では、コストではなく施工の合理化を目指したという明確な意思があった。
- ・ JR 東日本と同様に、別の要求（制約条件）があるために、頑張るという意識があった。

(3) 今後の活動予定

- ・ 次回 WG&委員会
日程：10月27日(水) 13時～17時
場所：土木学会予定
- ・ 11月に構造物調査を企画する。
- ・ 12月に全体委員会を開催し、2年の活動期間が終了する。
- ・ 本年度末を目標に報告書の作成を行い、来年夏までに報告会を開催する。

以上
(文責：川端雄一郎)